

(ア) 目標

- ① お客さまの声を大切にした事業運営を推進する。
- ② 停電状況や復旧見込み等を速やかに情報発信する。

(イ) 目標設定の考え方

ステークホルダーとの協議により得られた意見を基に、顧客満足度の向上に資する取組みを目標として設定。

(ウ) 実施内容

- ① さらなるサービスレベル向上に向けて、あらゆる機会を通じてお客さまから頂いたご意見・ご要望を、社内の情報共有ツールを活用して広く共有し、事業運営に反映する。
- ② SNSやホームページ等を通じて、速やかに停電状況や復旧見込み等をお知らせする。

(ア) 目標

- ① 電力の安定供給や業務の効率化・高度化等に向けてA I や I o T等のデジタル技術の活用を推進する。

(イ) 目標設定の考え方

ステークホルダーとの協議により得られた意見を基に、デジタル化に関する取組みを目標として設定。

(ウ) 実施内容

- ① A I や I o T 技術等(画像診断、自動判定技術等)を設備保全・工事業務の効率化・高度化に活用する。
- ② デジタルデバイス(センサー、カメラ等)を巡視・点検業務の効率化に活用する。
- ③ 災害時等の電力データ提供を円滑に実施する。

(ア) 目標

- ① 無災害を目指し、公衆災害防止や労働災害低減に向けた取組みを推進する。

(イ) 目標設定の考え方

ステークホルダーとの協議により得られた意見を基に、安全性への配慮に関する取組みを目標として設定。

(ウ) 実施内容

- ① 工事を行う際のお客さまの安全確保対策（交通誘導員や標識等の配置）を適切に実施する。
- ② 作業時の安全性向上や環境改善に向けて工具・工法の開発・改良および最新機器・技術の導入に取り組む。

(ア) 目標

- ① S F 6 ガスやフロンガスの回収・管理を徹底する。
- ② 低・脱炭素化に向けて電気自動車（E V）導入を推進する。

(イ) 目標設定の考え方

ステークホルダーとの協議により得られた意見を基に、環境性への配慮に関する取組みを目標として設定。

(ウ) 実施内容

- ① 機器点検時や撤去時においてS F 6 ガスの回収を徹底する。
- ② 機器点検の確実な実施や点検・撤去時における確実なフロン回収の実施により、特定フロン・代替フロンの管理を徹底する。
- ③ 2030年度までにすべての社有車※をE V（電気自動車）化する。

※ E V 化に適さない車両を除く